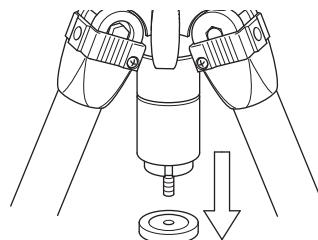
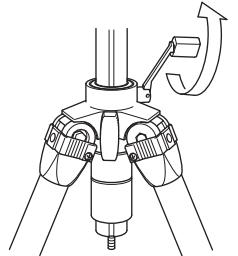


## エレベーターの交換

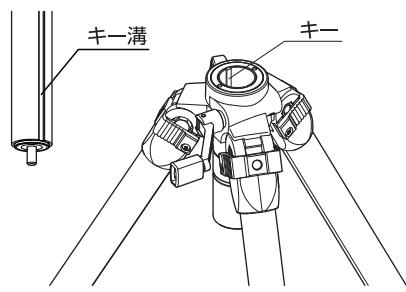


付属のローポジション雲台受と交換することでより低い位置での撮影が可能になります。

- 下部座金をゆるめて外します。
- エレベーターカバーパイプをゆるめます。

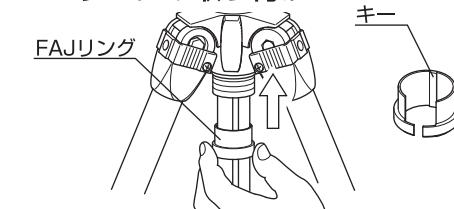


- クランクハンドルを操作してエレベーターを上に抜き取ります。
- ローポジション雲台受の下部座金を外します。



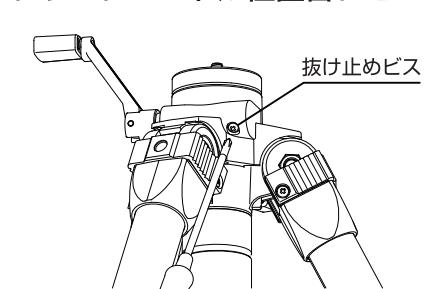
- 本体部の中のキーとエレベーターのキー溝の方向を一致させます。
- クランクを軽く回し、歯のかみ合いを確かめてから下まで降ろして行き、下部座金を取り付けます。

### FAJリングの取り付け



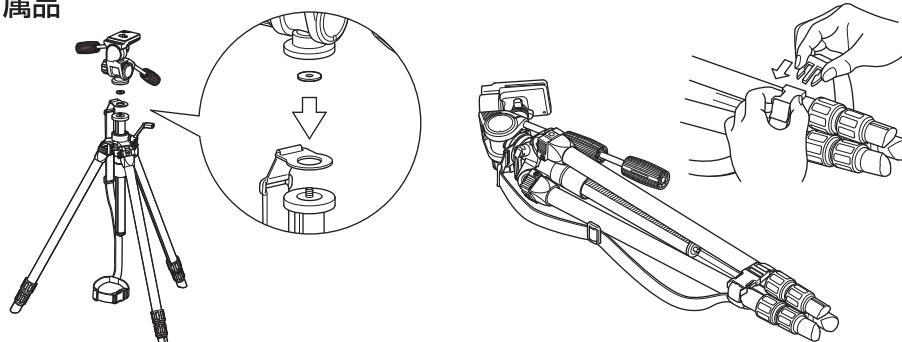
- もし、交換時にFAJリングが外れたら次のように組み込んでください。  
 1. エレベーターカバーパイプを左に回し下に抜き取ってください。  
 2. FAJリングのキーとエレベーターのキー溝を一致させて本体の中へ厚みの薄い方からさしこみます。  
 3. エレベーターカバーパイプをもと通りにねじ込みます。

### クランクハンドル位置合わせ

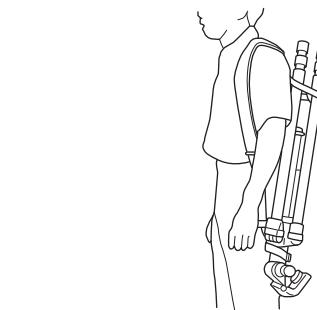


- エレベーター交換後のクランクハンドルの収納位置を修正する時は、抜け止めビスをゆるめてクランクハンドルを引き抜いて再度セットしてください。  
 クランクハンドルが抜け落ちないようにビスをしっかりと締め込んでください。

## 付属品



付属の三脚ストラップを使用すると、三脚の持ち運びに便利です。  
 図の様に、雲台を取り付ける際に金属プレートとワッシャーを、雲台と三脚の間に挟んで使用します。



脚側にストラップを図のように取り付けます。  
 脚側は脚ロックナットよりも上に取り付けてください。外れる危険性があります。

三脚ストラップをご使用のときは、雲台を下にしてかつぐとバランスが良くなります。

## ○禁止



- 三脚や雲台各部へのオイル・グリス等の補充は絶対にしないでください。  
 破損、故障の原因となります。
- 可動部の動きが悪くなってきた場合は、お買い求めの販売店またはアフターサービスへご依頼ください。
- 火に近づけないようにしてください。  
 夏など高温になる車内などに長時間放置しないでください。

## お手入れ

- よごれたときには、中性洗剤をやわらかな布につけてふいてください。  
 その後、きれいな乾いた布でふいてください。

本製品の補修用性能部品は製造中止後5年を目安に保有しております。  
 したがって本期間に修理をお受けいたします。

インターネット・ホームページ <http://www.slik.co.jp/>

\*改良のため、お断りなくデザイン、仕様を変更することがありますのでご了承ください。

©2014 SLIK CORPORATION

# SLIK®

## グランドマスタースポーツ 3

### 仕様

|        |          |
|--------|----------|
| 縮長     | 790 mm   |
| 全高     | 1,795 mm |
| EVスライド | 260 mm   |
| 質量     | 3,320 g  |

### 取扱説明書

このたびは、スリック製品をお買い求めいただきまことにありがとうございます。  
 ご使用前にこの説明書をよくお読みいただき正しく、十分に性能を生かしてお使いください。  
 お読みになったあとは必ず保管し、わからないときには再読してください。  
 脚のみをお買い上げの方は三脚部の説明を中心にお読みください。

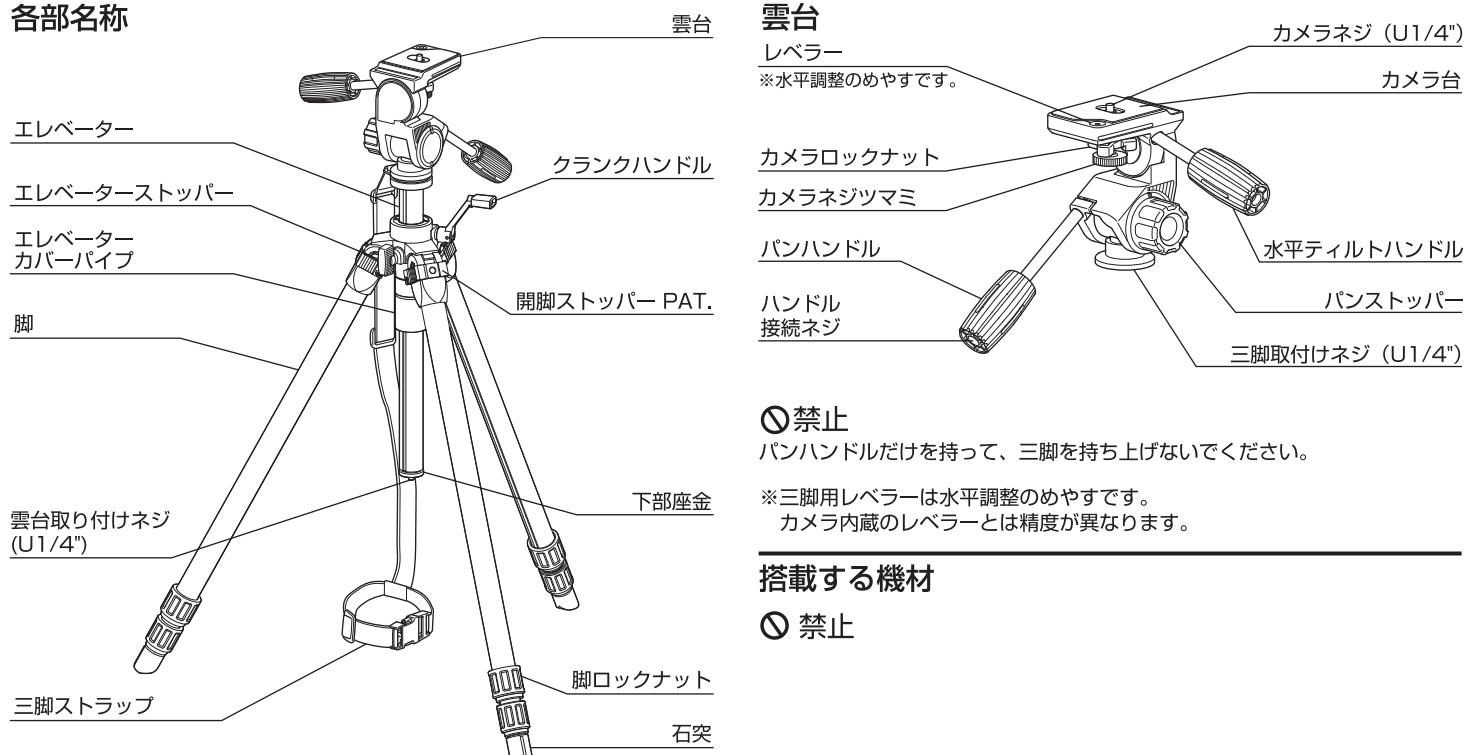
⚠ 注意 このマークは取扱いを誤った場合、人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容です。

🚫 禁止 このマークは禁止(してはいけないこと)内容です。  
 説明にしたがい事故のないようお使いください。

三脚ストラップ付

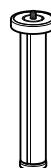
P765-2

### 各部名称



### 付属品

ローポジション雲台受け

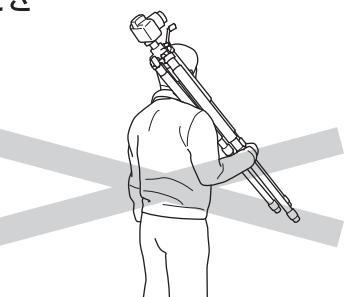


この製品は、5kg位までの機材を載せるように作られています。  
 これ以上の機材は載せないでください。

また、5kg以下のものであっても重心位置によりバランスの取りにくいものもあります。  
 そのようなときは、上のクラスの三脚をお使いください。

### 持ち運びのとき

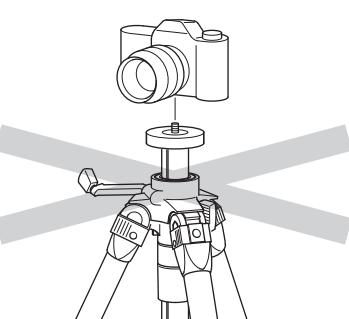
## ○禁止



カメラは三脚から外して持ち運んでください。  
 カメラの落下、使用者や周囲の人へのケガ、物損等を起こす可能性があります。

### 雲台取付けネジ

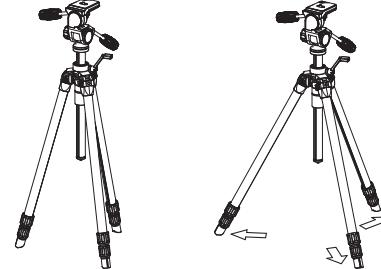
## 🚫 禁止



カメラを直接エレベーターに取り付けることは故障の原因になります。雲台などを介してお取り付けください。

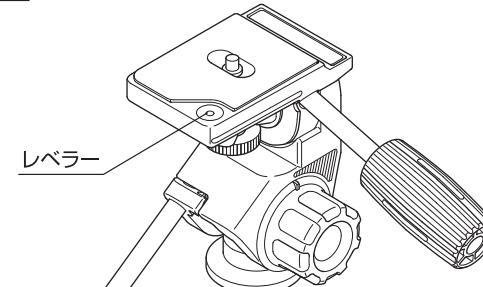
## 機材の取り付けとセットアップ

### △注意



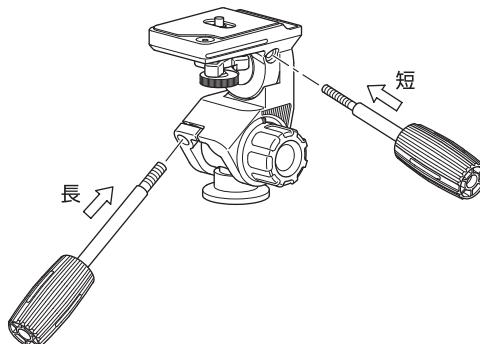
カメラの取り付け、ハンドル、ツマミ、レバー類のロックは確実に行って、落下や転倒を防いでください。  
また、3本の脚を開いてください。脚の開きが不十分だと不安定でカメラブレや転倒の原因になります。

### 雲台部 レベラー



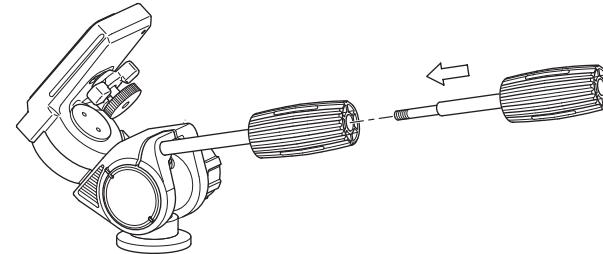
カメラ台のレベラーを使用すると、写真撮影時の水平出しのめやすとすることができます。

## パンハンドルの取り付け



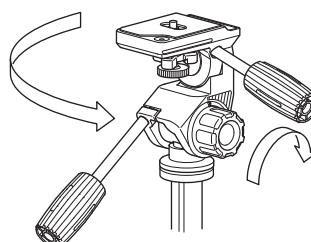
雲台に2つのハンドルを取り付けます。パンハンドル(長)を左、水平ティルトハンドル(短)を右に取り付けてください。  
ネジのサイズが異なりますので逆に取り付けることはできません。

## 収納



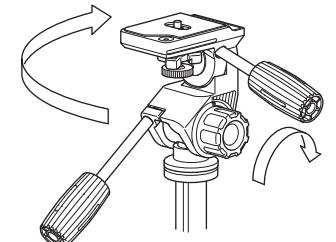
水平ティルトハンドルをはずし、パンハンドル後部のハンドル接続ネジにねじ込んでください。  
コンパクトに収納できます。

## 雲台の取り外し



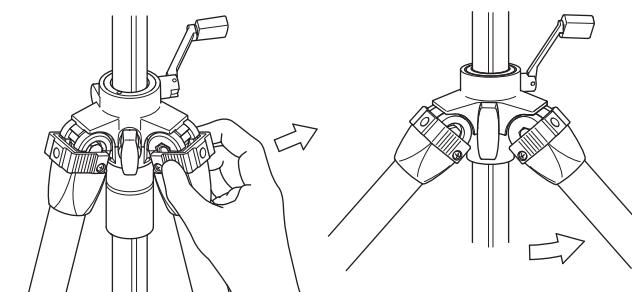
雲台を取り外すときは、始めに、エレベーターをエレベータースッパーでしっかりと固定します。次に、雲台のパンストッパーをしっかりと締め込み、パンハンドルと水平ティルトハンドルを握って力強く反時計まわりに雲台を回します。  
これで雲台がゆるみます。

## 雲台の取り付け

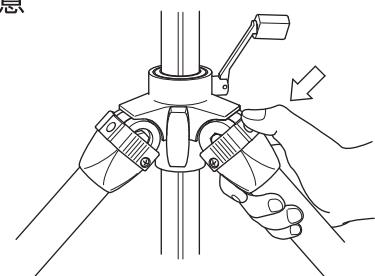


雲台と三脚のネジを合わせます。  
雲台を時計まわりに止まるまで回します。  
パンストッパーをきつく締めて、さらに雲台を時計まわりにねじ込みます。  
パンストッパーをゆるめる通常にパンニングできます。

## 三脚部 開脚角を変える



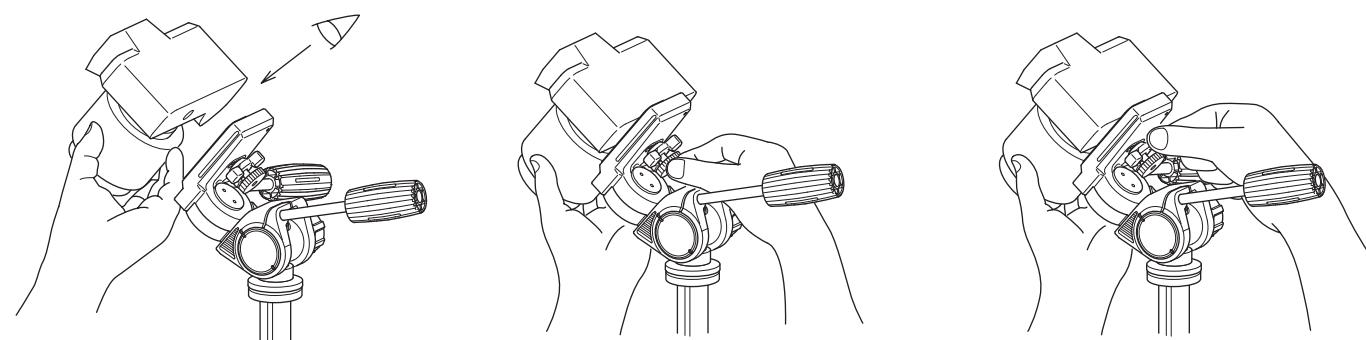
### △ 注意



標準の開き位置から脚を少し閉じるようにして、開脚ストッパーを引き出すと  
残り二つの開脚角度(ミドル、ローポジション)がえらべます。

使用角度が決まったらストッパーをつきあてにあたるように確実にもどしてください。

## カメラの取り付け

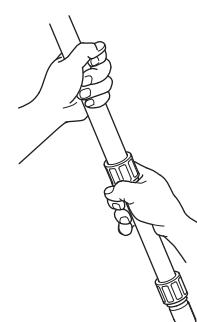


ハンドルを操作して、図示の様にカメラ台の手元を  
あげると、ネジ部が見えて取り付けやすくなります。

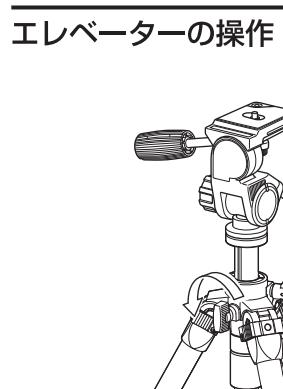
カメラをしっかりと支えながら下側のカメラネジ  
ツマミでカメラネジをねじ込みます。

次に上側のカメラロックナットで、しっかりと締め込みます。

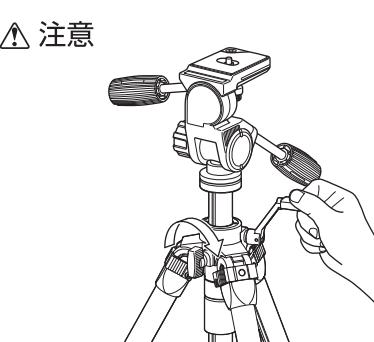
## 脚の伸縮



脚ロックナットをゆるめるると、脚は伸縮します。  
位置がきましたら、しっかりと脚ロックナットを締めつけてください。

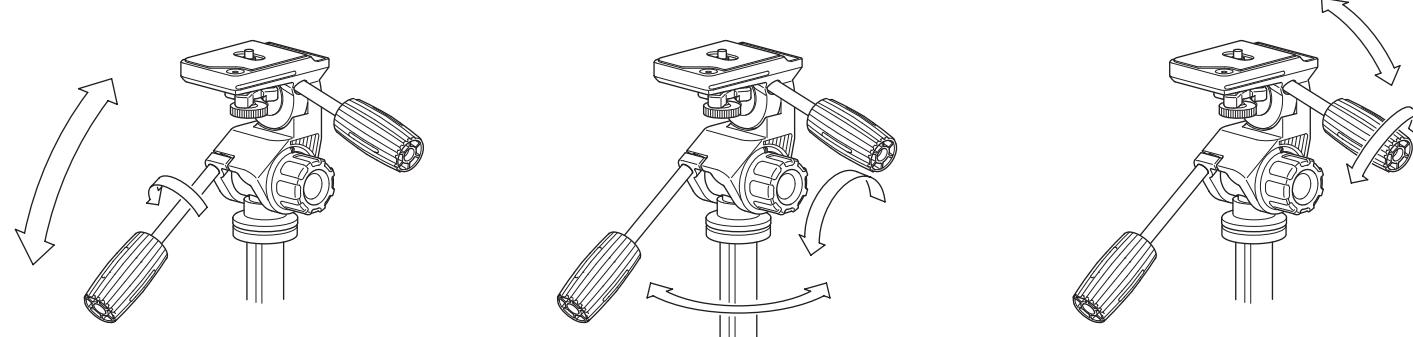


エレベータースッパーをゆるめてクランクハンドルを操作するとエレベーターは上下します。



クランクハンドルから手を離す前にストッパーを締めてください。エレベーターの不用意な落下を防げます。

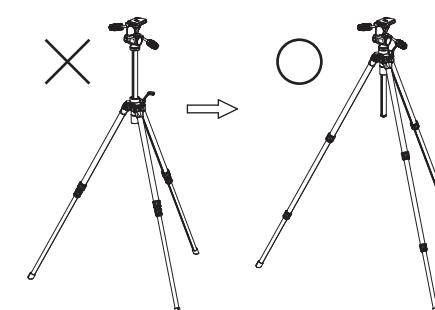
## 雲台の使い方



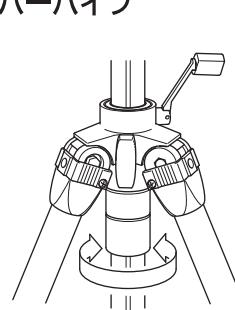
パンハンドルをゆるめると、前後にティルトできます。

パンストッパーをゆるめると、水平に回転できます。

水平ティルトハンドルをゆるめると、水平調節ができます。



エレベーターはなるべく高さ調節用として2/3くらいまでの高さでお使いください。  
一杯に伸ばすとゆれが出やすくなります。  
また、脚は太いパイプを優先してお使いください。



エレベーターカバーパイプの締め具合で、エレベーターの上下かたさが調節できます。